



Ω ROOST

KUROO TETSURO
x
TSUKISHIMA KEI

OMEGA BIRTH PARODY
FOR ADULT ONLY





僕はまだ
発情期を
迎えていない



でも僕は
嫌だ
空いてるか?



「身体を繋げるだけが
恋人じゃねーだろ」
なんて真面目な顔して言
われたのがついこの間

なんかすげー
ケーキの種類多いの

僕の体への
負担が減るし

発情期になれば
身体が順応するから



黒尾さんは
待つてくれている

駅出てちよつと
行ったところにな

新しく喫茶店
出来てただけど



ん？なに、
やっぱケーキ
食えるトコに



理性を失ったまま

黒尾さん、
飯食える所の
方が

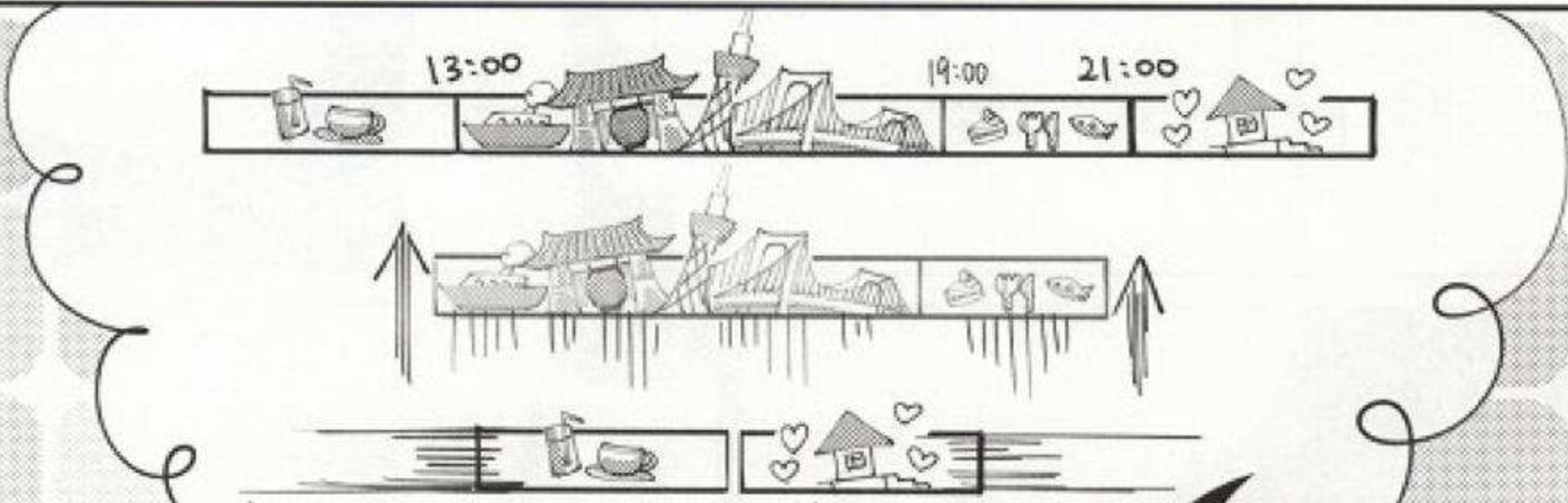
フケわかんなく
なつたまま

最愛の人と
繋がるなんて

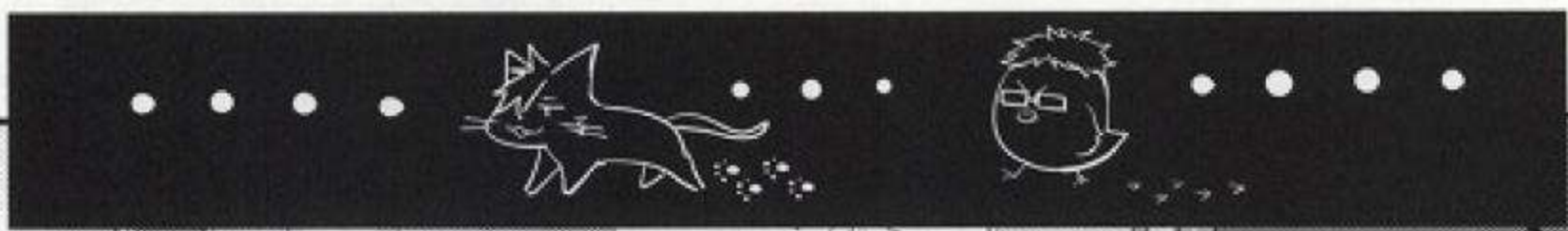
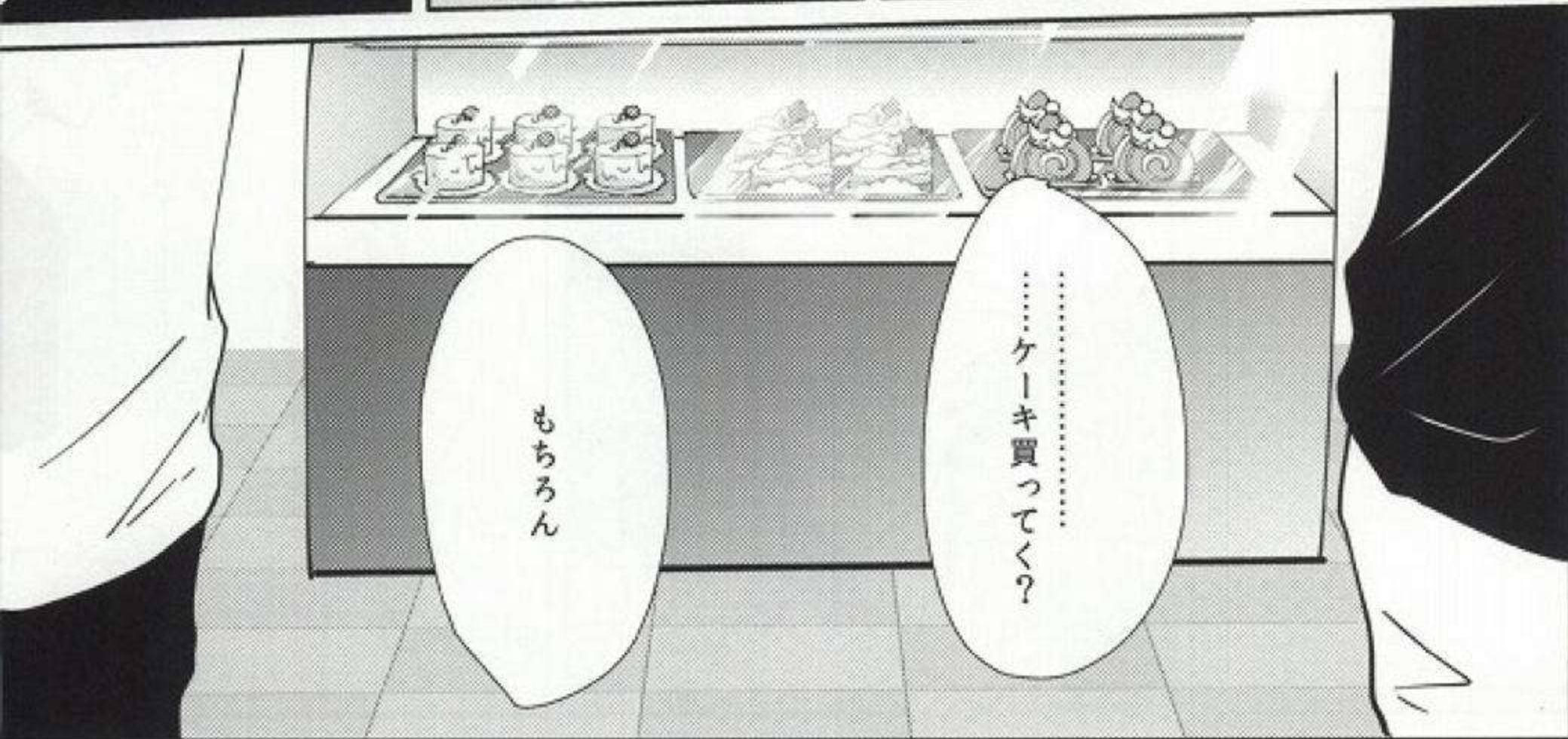
黒尾さんの家に行きたいです

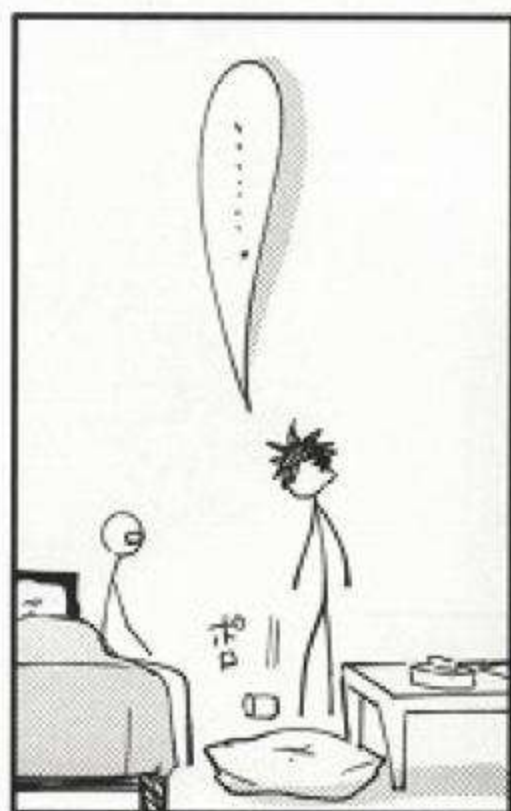
僕

...



何なの？







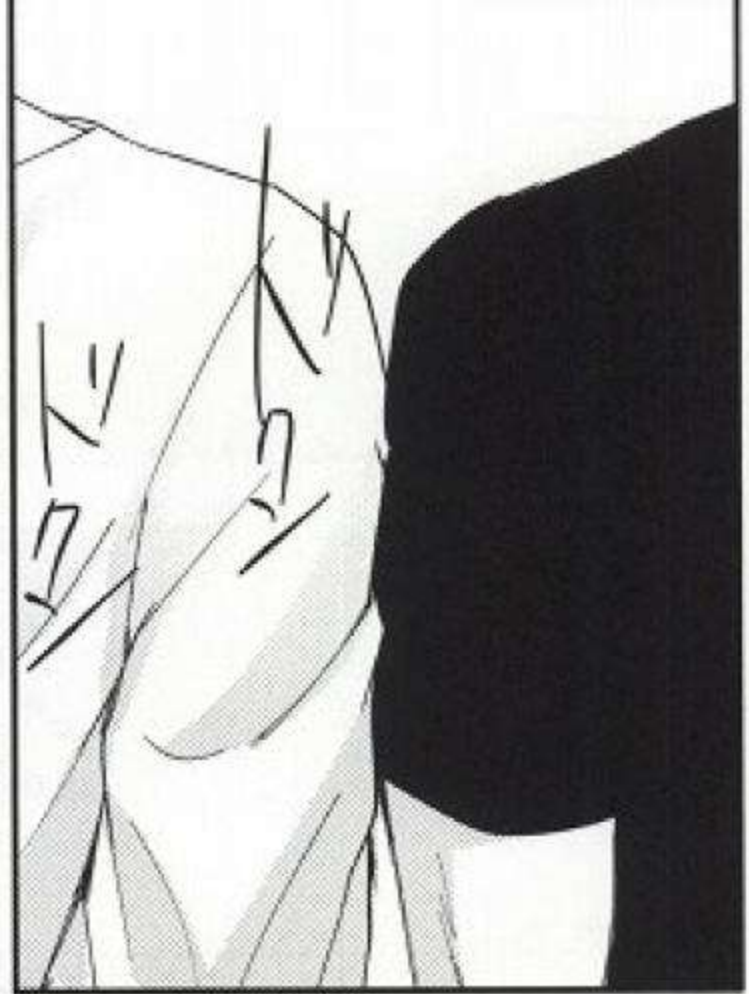
あの、

黒尾さ

蛍ちゃんさあ



ンクンクン



なにをそんな
無理してんの？

!!



ワリイけど
ベッドから降りて
くんねえかな？

じゃねーともう
抑えらんないかも
くっ…

え…と だから
とりあえず…あー

ダイタン発言
しちゃう蛍ちゃんは
すげー可愛かったけど

焦ってるとか
こやなくて…



俺前にも
言ったよなあ？

別に焦る必要ねーと
思うんだよ

べっべっにつ



黒尾さんだけ我慢するなんて
フェアじゃないじゃない
じゃないデスカッ

ど……
どっちなだ!?

くっ



第一ッ
あんた一人で勝手に
決めすぎなんですよ!

僕イヤだなんて
一言も言って
ナイですよね!

なんで発情期迎えるまで
シたくない前提なんですか

む……むしろっ……
ほ、僕だっ……て……ッ



黒尾さん……

と……

ッ……!?



待っ...

黒尾さっ

っ...

ふ...っ

んっ...

1/4



待って

んっ...

いっつも
動き遅し...

んんん...

頭
シビれる...!



しゅ

黒尾さんの舌

んく...

黒尾さんの匂い

待ッ...

んんっ

...っ!

くお、

は、

んんう...っ♡

黒尾さんの
味



だめ

は...っ

せう

...はあっ...

わん...
黒尾さんの「ト」しか
考えられなくなる...っ

わん

はっ♡

はっ♡

くろお、さ...



や……っ

待って、
くださっ……

ごんないせ

ねえっ……
くろおさ、
アツ……!

あ……

欲を秘めていたなんて

ツ……! ちよっ

ねえっば、

ツ……クソ、

……ツ!

待てっ

言ってるデシヨ!

ふあっ……
ふおめんなはい……

クソ……

黒尾さん、僕ね
嬉しかったです

発情期が来るまで
待っててくれるんだと
わかったとき

僕の事を大事に
思ってくれてるん
だなって

だから
最初はそれでも
いいと思ってました
…でも、

正直 発情期が
くるなんて

知識があつて
覚悟をしてても
滅茶苦茶怖いんです

もしかしたら
パニックになるかも
しれないし

自分がどうなつちやうのか
わからないじゃないですか

だから

そ、そんな
状態で…セッ…

…ス…
するのは

イヤ…
というか…

いくら痛くたって
苦しくたっていいです

黒尾さんをちゃんと
感じたい

ハジメテは

ちゃんと記憶に
残しておきたいんです

だから…今日…あの…



いーから早く

えっ は
ハイツ、



あつて

は？

アツて



蛍ちゃん、

…なんデスカ

あー！絶対
調子乗る



蛍ちゃんが…

蛍が好きすぎてさ

加減できなくなつ
ちまうのが怖くて

逃げてたわ

俺ほんと自分の事
ばっかだよなあ



い…っつ…

しまった

？

？



んじ



.....なあ

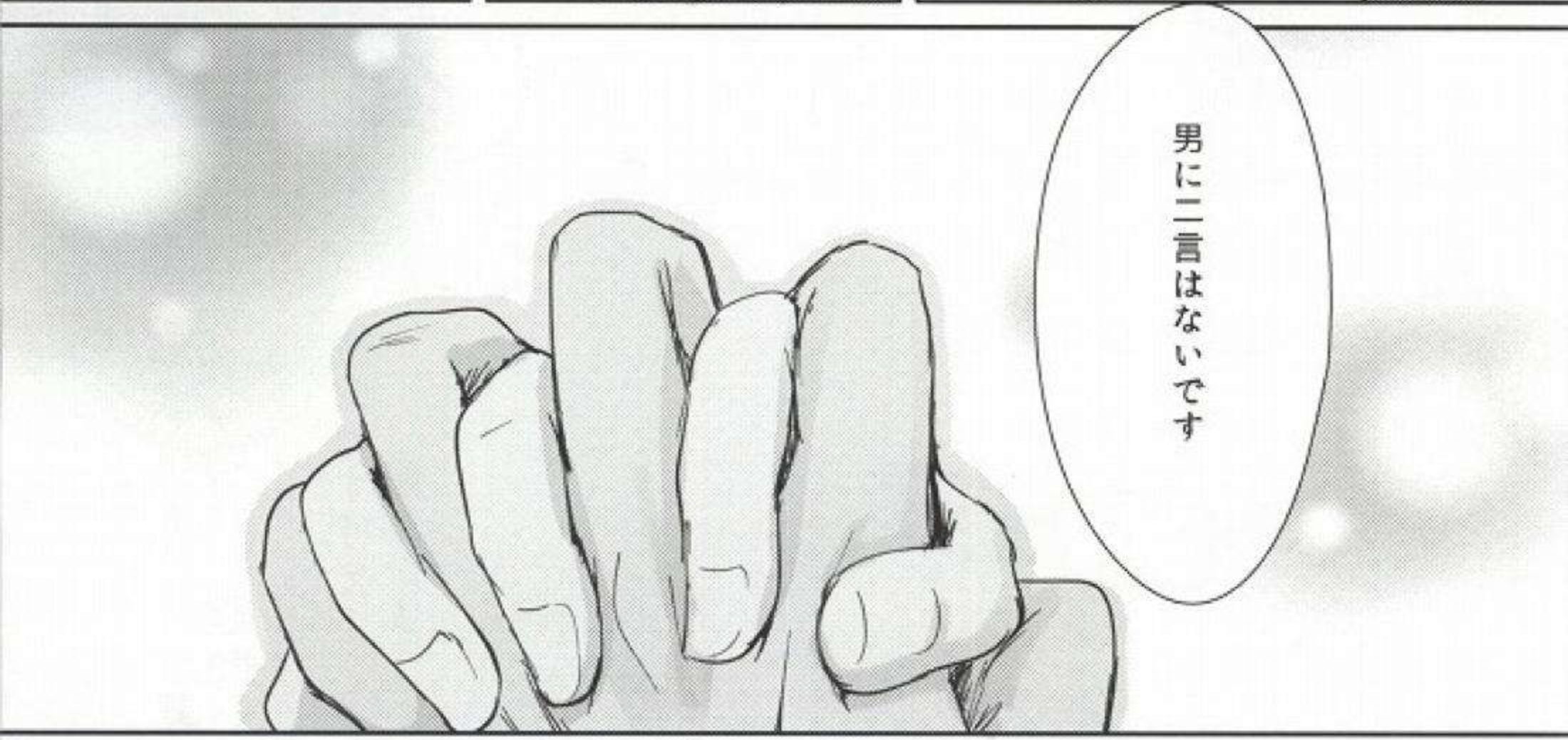
...

ホントにいいの？



蛍ちゃんが俺を求めてくれるのすっげー嬉しい

だからもう逃げねーよ



男に二言はないです



俺のベッドで全裸

月島蛍が

やべえ
やべえ
やべえ
ゴッ

全裸っていうか…
は…裸メガネ…？

破壊力すげえ…
彫刻かよ…

あつ…あんま…
見ないで…くださ…

てゆうかつ…
黒尾さんも、
脱いで…

あ、
ハイッ











僕でも

シないワケないデシヨ

ええそうですケド
なにか問題でも？

黒尾さんが
手こずったりして
恥かかせるわけには
いきませぬしね

へえ…そりゃ

お気遣い
ドーモ？

あれ

いきなり
ピンゴ？

あーもう
マジツ…

んだそれ挑発のつもり
愛すぎるのも大抵
ちクソいますぐ
込んで喘ぎ狂わ
てえ我慢我慢我慢

これ？ここ？
きもちいいの？

一人ん時
黒尾さんのコト
考えながら

ユコばっかイジって
オナってたんだろ？

なあ、どお？
実際俺いま
触ってるけど

蛭ちゃんの
想像の中の俺と
どっちがイイ？

あアツ！

アツ…
い…っ

も…うるさ…
ばかあ…っ

あ
アツ

あ！

ん…くっ…
僕の想像ではツ…

ははっ
そーするつもり
だったのに

もっと紳士的で
優しかったんですケドツ

オマエが煽りまくるから
そんなヨエー
なくなっちゃった
だろーが

あつ
煽ってなんか…

よあ…

よあ…



息吐け、
ゆっくり……っ

息が、
できない

大丈夫だから

……あ……

……ッ！

奥の奥まで
黒尾さんで
いっしょにがんばる



黒尾さんが居る

くっ……はあっ！

こんな深い
トラボ……

っ……すげえ……！

ハア……ッ

ハアッ



は……っ……
……っ……はあっ……

そーそー、
ゆっくりな

大丈夫、大丈夫。
暫くこのままな

く……ろ……さ……
あっ、……い……っ

うん、蛍のナカ
すげえ熱い

滅茶苦茶
気持ちいいよ

くろおさ……ん

ん、なあに



いい加減にしろよ
クソッ……ッ

んあああ……ッ！

クソッ……ッ



想像の黒尾さ……はっ

こっ
こん、なっ……優しく
なかった……っ

も……と……もっ……と……
滅茶苦茶に……シてっ……

いいです……から、



こめ……なさら……

さっき、
嘘つきました

は？



あううう...う...う...
あああ...あああ...
くろおれう...!

う...う...!

うは、あ

すげえっ...奥、

んあう...! はあう...
あううあうあうあう
あひう...う

あうたけえ...!

気持ちいい...!

くおおひや...!

んう...んあう...
あああう...!

う...う...!

う...う...!

う...う...!

う...う...!

う...う...!

う...う...!



あッーアアッ

ただでさえ

こんなにも
気持ちよ〜で

オカシク
なりそうなのに

あッーアアッ

んあうっ

んあうっ

や、
あああ…ッ

発情期がきたら
どうなるかわから
ない

んあうっ
んあうっ
んあうっ



僕が僕じゃなくなっ
ちゃうみたいで

くろっ…

おめっ

なまえ、

呼んで、
ください…っ

黒尾さんが
黒尾さんだっ

わからなく
なっちゃうたら

いっばい、

呼ん…っ



あッーアアッ

あッーアアッ

あッーアアッ

あッーアアッ

んあうっ

んあうっ

んあうっ

んあうっ

んあうっ

んあうっ

黒尾さんが僕を、

感…

あめ

虫…ッ

虫…ッ！

あふっ…あ

くろ

くろおさ…っ

おしん黒尾さん
感じっただい

もつと黒尾さんに
求められたい

もつ、ため
き、もち

い、っあ

黒尾さんだけのものになりたい
黒尾さんの全部が欲しい

黒尾さん、黒尾さん

黒尾さんっ

黒尾さん、も…っ

イって、僕でイってええ…っ

黒尾さんがこんなに
余裕なくなるほど

ッ

ああ、イクよ、
僕を、僕に、
僕だけを見て

ああ、おしん、おしん、おしん…っ

あーイクッ…
堂…イク…!!

愛されたい、愛されたい、

黒尾さん、番いたい

ン…

ねえ 早く

つがい
番になりたい

んあああ…!!

あん…あ…



や……だ……
なに……これ……

く……ろお……+……

は……あ……
……き……
きちやつ……た……

……き……
きちやつ……た……



黒髪おさむ

僕

さっしゅ

んいっ...!
んんっ

あ、あ...

いっ...あアッ! あ、



番になるんだ





完全に
まんこに
なっちまったなあ

あーあ...
女の子の汁出しながら
ヒクつかせちやつて

すげ...
触ってねーのに
噛まれただけで
イっちまったの？

どうして
ほしんだよ...
言えよホラ...

なあ蜚...
どうすんだよ
コレ...

...ほし...
...ほし...
くろ...おき...
ほし...

あ...♡

もう
逆らえない

...したい...
服従したい
この人に

永遠に

言え

聞こえねえって。
ちゃんと言えよ
「蜚のおまんこに
黒尾さんのちんぼ
プチ込んで
滅茶苦茶に
して下さい」って

そ、んな...
いえな...

ミッ!?

黒尾、さ...
け... 蝨の...
おっ...
おまん... にっ...
♡

くろおさん...
のお... っ
おっ...
お... おちんぼ...
ぶち込んっ... れ...
あ... う... っ

滅茶苦茶に...
はっ... あ
はや... へ...
ずいずいっ... っ

して... くだ...
ひあ...
ぬち...
...

あ... っ... っ... っ... っ...
くろおさん...
だめ... だめ... だめ...
...

ゴム、つけてない
...

...

ああ

孕め

孕んじまえよ

悦びにも似た
震える声

汗か涙か分からない
熱い雫が触れた瞬間

夢なんだ

蛍が…俺達の子供
産んでくれるの



おっちゃん

おっちゃん

っう……!

け……

……蛍……?

この人と子孫を
残せるように

オメガの本能が悦んだ

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

だじと意識の中は、
何度も、何度も、黒尾さんと呼ばれた

羞恥も理性も失って

自分から
腰を振らずには
いられない

身体と意識が分離する

身体が雌になる

子孫を残す為だけに動いている

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

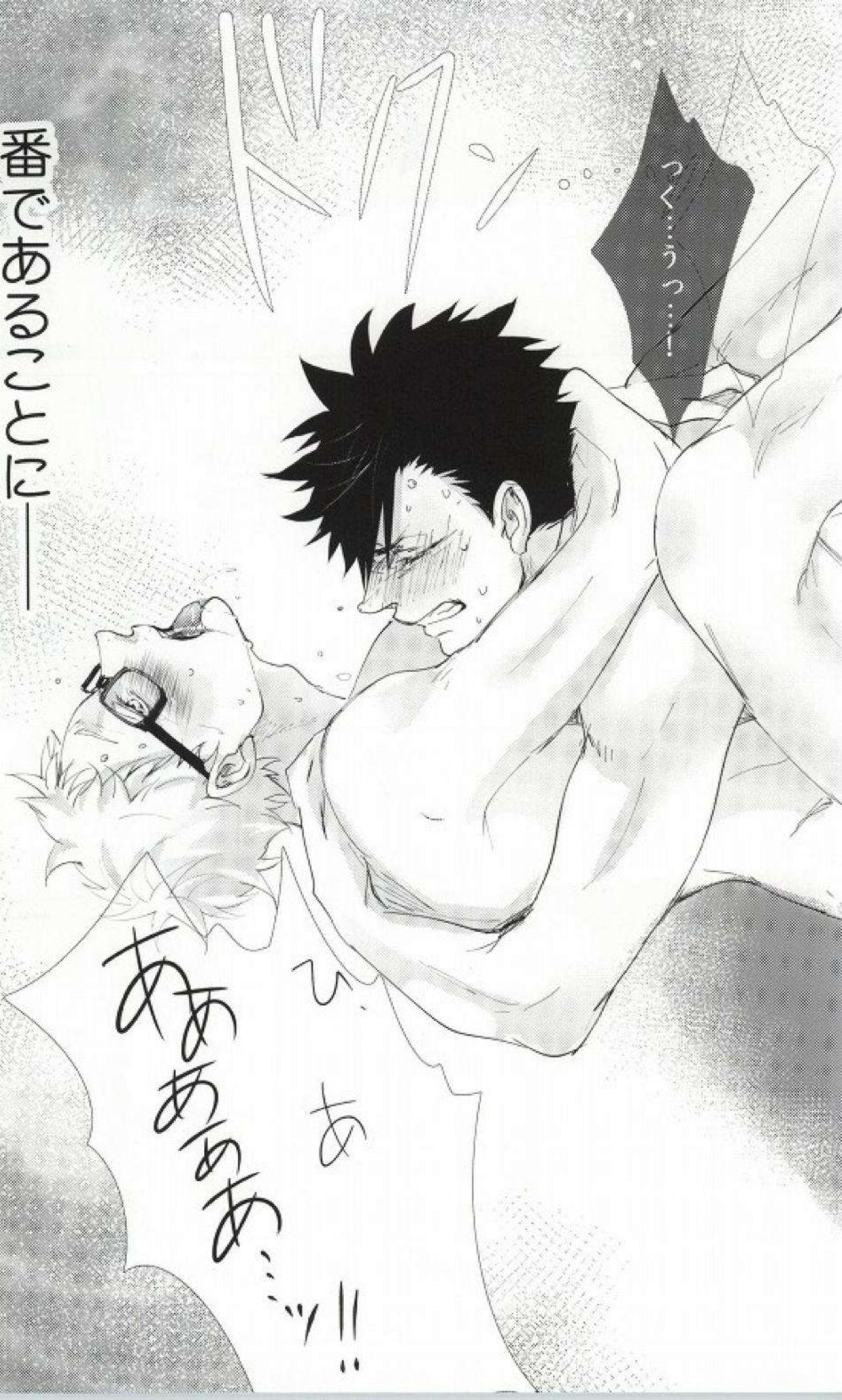
おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

細心センサーJJJJ——



あああああ
あ

それから3回

失神するほど
滅茶苦茶にされても
ヒートは治まらず

見兼ねた黒尾さんが
抑制剤を飲ませてくれて

薬が効くまで
また2人で擦り合った



ヒートが治まり
いつの間にか
夜も更けて

夕飯を食べ
て
忘れない事
すら

なお
求めた

静かに静かに

体は消耗しきって
いたけれど

それでも
力いっぱい
抱きしめ合った

求めた



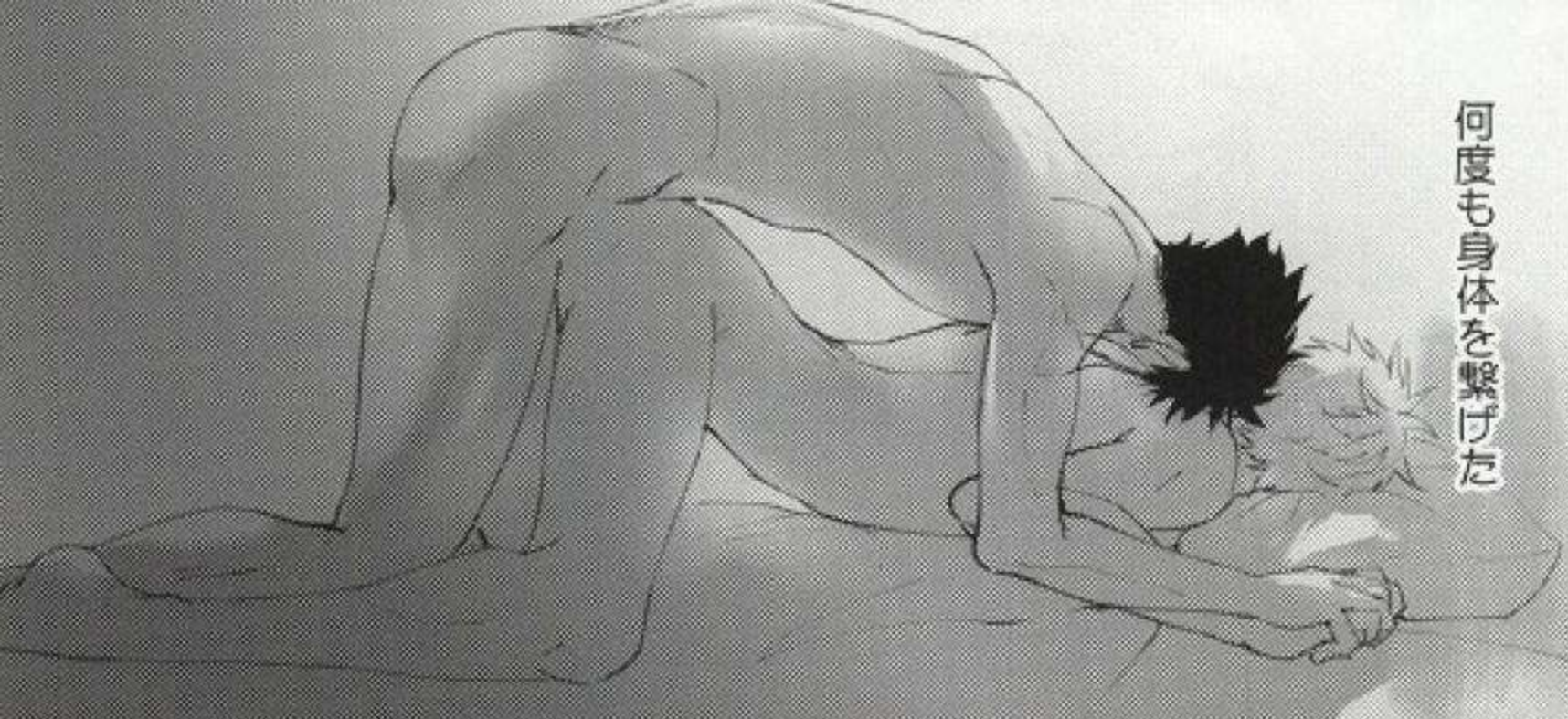
ガラガラの醜い声で
名前を呼んだ



繋けてしまふようになへん

あつてあつてあつて

何度も身体を繋げた



翌朝、

目覚めて第一声に

黒尾さん

顔、気持ち悪いです

とつぶやいた



オイオイ

世界一幸せな男の
顔に向かって

随分な言い草だなあ？

って

世界一幸せな男みたいで顔で
言い返された

胸のあたりが本当に気持ち悪くて

涙が出そうになった



頭を撫でる手が
あまりにもあたたかくて



一瞬だけ

黒尾さんが
本当に寂しそうな顔を
するもんだから

僕から
キスして
みちやったり
なんかして



お腹冷える
から……

ちゃんと下
履くんだゾ……

ものすげえ
逆効果だったケド

遅れるってば

めでたく番になって
散々セックスした挙句

次の日家に
一人ぼちなんて

普通は
寂しいんだろうね

「早く帰ってきてきて♥」
なんて言えれば
可愛気もあるつてもん
なんだろうケド



あ

うま

結局
ぼいて

残念ながら

僕は二人で過ごす
時間も結構好きだし

寂しいとか

無い無い

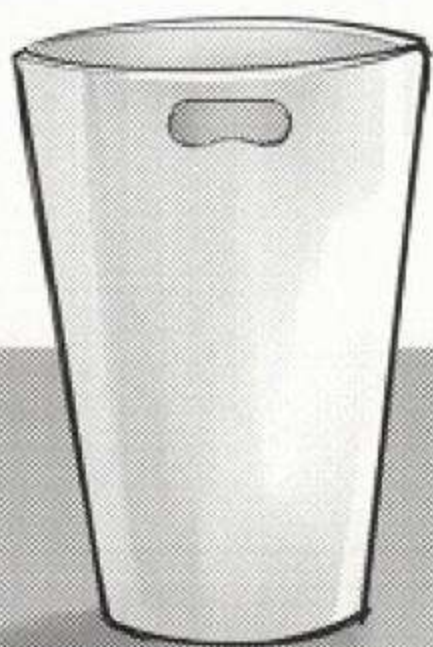
だけど



黒尾さんに
伝えたいことが
あるから……



早く、帰ってきて





知ツキー!!

